

# 「消防団の力向上モデル事業」 事業紹介

事業名 事業名持続可能な消防団組織を見据えた地域防災力向上事業

自治体名

愛知県豊橋市

消防団名

豊橋市消防団

## 1 事業の目的・必要性

全消防団員に多様な災害に対応するための教育訓練を行い地域防災力の向上を図る。

現場活動を共にする、消防吏員と消防団員の連携を強化する。

## 2 事業内容

○消防吏員が講師となり消防団員に訓練指導する消防署研修を開催

第1回消防署研修 消防活動訓練（基礎）

第2回消防署研修 消防活動訓練（応用）

第3回消防署研修 風水害対応訓練

第4回消防署研修 救助活動訓練（基礎）

第5回消防署研修 救助活動訓練（応用）

第6回消防署研修 応用訓練

○冬季でも訓練が行えるよう、高機能防寒衣を配備

## 3 事業成果

かつては、消防団に求められる役割は火災であり、それに特化した訓練を行うことが正解とされてきました。しかしながら、災害が多様化する現代においては、消防団は救助や風水害対応といったあらゆる事案に対応する必要があります。

伝統を重んじる消防団組織において、「変わること」は容易ではありませんが、今回、消防団の力向上モデル事業に採択されたことにより、従来の訓練環境から脱却し、あらゆる災害に対応できる消防団になるための教育体制の基礎を作ることができました。また、消防吏員が講師となり訓練指導したことで、消防吏員と消防団員が顔の見える関係を築くことができ、災害現場での連携強化に繋がりました。

なお、事業実施に伴い購入した高機能防寒衣は、訓練だけでなく、実際の災害現場でも使用されており、消防団員の安全確保に寄与しています。

## 4 目標達成状況

指標	単位	当初目標	実績値	備考
消防署研修	回数	6	6	
参加率	%	100	50	
装備充足率	%	100	61	

## 5 その他参考情報

 豊橋市消防団のホームページになります。  
各種マニュアルや消防団の訓練指針を掲載することで、団員がいつでも個人のスマホで確認できるようにしています。



<訓練説明の様子>



<応用訓練：常備との連携①>



<救助訓練：チェーンソー取扱>



<応用訓練：DIG>



<応用訓練：常備との連携②>



<風水害訓練：水防工法>